



南会津のじみ～な山

南会津

小野岳山スキー

手嶋

【日時】 2010年2月17日

【メンバー】L手嶋、古野、大田原、TS（会員外）

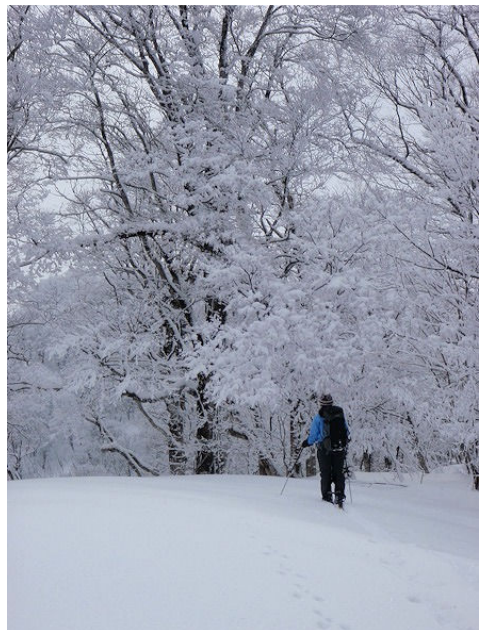
最近ハイキングで南会津に行くことが多く、山スキーにも意外と良さそうな山がいくつかあることに気づいた。この小野岳もその1つ。大内宿奥からの登山道を登ってみるとなかなかいいブナが適度な間隔で生えている。雪さえ多ければ充分だと思っていたら、今年はそれなりの大雪になったのでいいチャンス。折しも休暇で帰国中の古野と大田原、TS、手嶋の平日組の山行となった。

前夜道の駅下郷で泊。そこから入山地までは小1時間である。県道の雪かき広場に車を置き、スキーを履いて林道から登り始める。すぐに夏場は駐車場となっているところを過ぎ、登山道沿いの登り。尾根の方が良さそうなので、すぐに左の急な尾根末端に取り付く。二登りで尾根上の緩傾斜地へ。Tさんが遅れる。非常に体調が悪そう。

やがてブナ林の尾根を登る。天候もまあまあ、いいブナ林の気持ちのいい登りだ。山は良い！古野さんもがんばる。全然山に行っていないわけだしんどいのは当たり前だが、ゆっくりだががんばってくれる。元気印の大田原は終始元気で前に行く。

山頂への急な登りは途中ヒノキの森林帯あり、また若干のヤブ帯もあったが、コース全体を通してみれば滑降も含め非常にいいルートに思える。やがて傾斜が緩くなると見覚えのある小野岳山頂へ到着！夏場でも広い山頂なのだが、この季節はかなり広い雪原になっている。あの後ろの林でテントを張って酒飲みたいね、などと語る。ここまでちょうど4時間だ。早くはないが、やはり山頂に来られると充実感が違う。

さて用意をして滑降開始。始めしばらくは気持ちいい緩傾斜の滑降。実は前の週に雨のあと急激に冷え込んで日本全国の山がアイスバーンになった。その週末の北アルプスでは、そこに薄く乗った雪で、登りが滑りまくった。しかしその後数日、それなりに雪も積もりいい状態になった。今年最高と言ってもいい快適なパウダー滑降だ！





やっかいに見えたヤブ帯、その後のヒノキ帯も問題なく通過し、いったんシールを履いてちょっとしたピークを登り、そこからは素晴らしいブナ林の滑降だ。南会津はまさにこれがいい。高度を下げるにつれ、やや尾根が狭くなり滑りにくくなる。そこからは予定どおり左の沢に降りた。途中まで登山道が登ってくる沢の上部だ。おいしい斜面！調子の悪いはずのTさんが見事なテレマークターンで飛び込む。かく言う私も続く。大田原も強いスキーで何ら問題なし。古野はいつものとおりの安定感だ。

広くいい沢なのだが、すぐにデブリが出てきて、それが薄く積もった雪に埋もれていて、それを避けながら下らないといけなかったのは、いい斜面なだけに残念だ。そうでなければ小ぶりではあるが最高の斜面である。でもこの快感、文句は言うまい！

ここを下っていくと登山道が降りてきている道標があり、杉林となり、そして登りのトレースを合わせると間もなく林道終点。ここから林道を滑降して終了となった。南会津のたかだか1300m程度の山でもこんなに楽しめるということがわかり満足だった。

【行程】 2/17 林道入り口手前駐車スペース (9:10)～小野岳山頂 (13:10/13:40)～駐車スペース (15:05)

【地図】 湯野上

